

## 会議録

会議の名称	西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会（第3回会議）
開催日時	平成27年1月16日（金曜日） 午前10時から11時15分まで
開催場所	エコプラザ西東京 多目的スペース
出席者	委員：沼本禎一、大槻暁子、首藤文恵、丸山紀子、河野美晴、池田めぐみ、長濱美玲、梅原后代、肥沼秀子、佐藤裕子、住田佳子、井埜光一、久能正吾、野澤幸美 事務局：坂本眞実（教育部特命担当部長）、早川礼成（教育企画課長）、児山晃男（教育部副主幹(教育企画課企画調整係)）、福井光（教育企画課企画調整係主事）、宮坂哲史（学校運営課長）、福田勇吾（学校運営課長補佐(施設係)）、名古屋勇（学校運営課施設係長）、田中稔（教育指導課長）
傍聴者	0人
議題	1 開会 2 会議録の確認 3 建替校の将来像について（西東京市の学校建設等に係る基本的な考え方） 4 学校施設の概要等について（学校運営方式） 5 その他 6 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会（第2回会議）会議録（案） 資料2 西東京市立ひばりが丘中学校建替協議会 第3回会議ワークシート集計結果 資料3 学校施設における施設機能について 資料4 杉並区立井草中学校学校案内
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録    発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><b>議題1 開会</b></p> <p><b>議題2 会議録の確認</b></p> <p>○会長： 前回第2回の会議録(案)について事前に送付しているが、訂正すべき箇所などがあれば発言願いたい。</p> <p>○委員： (異議なし)</p>	

- 会長：  
何もないようなので正式な会議録とする。

### 議題3 建替校の将来像について（西東京市の学校建設等に係る基本的な考え方）

- 事務局：  
（資料2に基づき説明）
- 会長：  
資料や説明について何か質問や意見等があるか。
- 委員：  
今後の開発状況を踏まえると、生徒数の増加が予想されるため、建替えを前倒した方が良いと思う。
- 事務局：  
前回会議でも同様の意見をいただいている。検討していきたい。

### 議題4 学校施設の概要等について（学校運営方式）

- 事務局：  
（資料3に基づき説明）
- 会長：  
資料及び学校運営方式について何か質問や意見等があるか。
- 委員：  
教科教室型は、選択教科が多いところには有用であると考えられ、高校には向くが中学には向かないのではないか。確かにアメリカでは教科教室型が多いが、子どもの休み時間の移動、授業が延びた時やバリアフリーの観点など考えるべき点が多い。経費の面でも教科教室型の方が、費用がかかるのではないか。やはり従来型の方が本市の学校には良いのではないか。
- 委員：  
教科教室型は、単位制高校のようなところには合うという印象を抱いた。また、ホームルームがあった方がクラスの団結性を保てるのではないか。
- 委員：  
従来通りの特別教室型が絶対良いと思う。中学生は友達づくりの時期である。そういう大切な時期には、ホームルームを中心として同じ場所で一緒に過ごしていくべきである。
- 委員：  
教科教室型の場合、教員は教科の部屋に居続けることになりがちである。教員は学校

全体を見て、子どもの色々な情報を収集することが大事である。

○会長：

特別教室型を推す意見が多い。配慮すべき点は御検討をいただくが、建替協議会としては、特別教室型を仮称第10中学校の学校運営方式とすることでのよろしいか。

○委員：

(異議なし)

○会長：

では、そのように方向性を定めてまいりたい。

### **議題5 その他**

○事務局：

(資料4に基づき次回会議の視察先学校の説明及び集合等の案内)

○事務局：

第5回会議については、日程調整ができ次第連絡させていただく。

○事務局：

予定している案件は終わったが時間に少し余裕があり、お忙しいところお集まりいただいていることもあるので、再度建替校の将来像やその他本日の会議についての御意見等をお聞きしたい。

○会長：

それでは、せっかくの機会なので皆様の意見をお伺いしたい。

委員：

できれば建設予定地が早めに分かればと思う。

○事務局：

担当課と調整し、進めてまいりたい。

委員：

地域住民への説明会を開いてほしい。中学校の建替えをすることなので、あくまでも中学生を対象に建替えていただきたい。

○事務局：

子どもは和式・洋式どちらのトイレを使っているのか。

○委員：

洋式が圧倒的に多い。

○委員：

和式だと汚す率が高く、洋式の方が使いやすいのではないか。

委員：

今の学校の現状としては、子どもたちはなるべくトイレに行かない。我慢して、家でトイレをするということである。親たちは健康面で心配である。安心してリラックスして用が足せるトイレにしてもらいたい。

事務局：

それは、具体的にどのようなトイレであるか。

○委員：

今は臭いもあり、キレイに使われていない。ちゃんとトイレに行こうよと言えるような場所にしてほしい。

○事務局：

平成21年度に全校で一律に洋式化をしている一方、各トイレに1箇所は和式にしている。便器そのものは古くないと認識している。臭いが出づらいのは洋式トイレであり、週二回業者が便器清掃、尿石取りは隔年で実施している。

○委員：

自分たちで清掃をしないから汚く使ってしまうと感じている。業者は来ているが、その間はやはり汚れてしまう。毎日清掃をすれば何かしらの対策をすべきではないのか。

○委員：

寒い場所にあるトイレは便器が冷えるので、暖房が付いた便座も必要なのではないのか。つくし学級の親から聞いたが、中原小で育った子どもたちが揃って同じ地域に進めればと思うので、新しい学校には固定学級があれば良いと考える。

○委員：

特別教室型、教科教室型の他にも開放型の教室もある。隣の教室の声も聞こえてきて、ちゃんと集中できているのかと感じた。やはりドアがあった方が良いと思う。

○委員：

今回の学校建設予定地の周辺の環境はどうか。

○事務局：

住宅地になるかと思う。

○委員：

住宅が建つ土地である。

○委員：

今の給食の時間が短く、これは親子給食で食缶のやりとりに時間の制約があるからなのではないか。食育と言っている割には、しっかり噛んで食べられない。せっかく新しい学校を作るので、給食調理室があれば良いのではないか。

事務局：

給食の時間が短いのは、一概に親子給食の影響というわけではなく、中学校の授業時間が長いためである。今後については、学校給食運営審議会において審議させていただきたい。

○委員：

中学校の施設が建てられるが、最初は中原小学校が使う。給食についてはどのような形になるのか。

○事務局：

検討してまいりたい。

○委員：

何年間かは小学校が使うことになるので、その間どのようなようになるのか心配である。

○委員：

青嵐中学校は災害時の避難場所として、緊急の際にはそうしたライフラインが使えるように整備されたと聞いている。今回の建替校もそうしていただければと思う。

○委員：

学校視察が楽しみである。色々と理想はあるが、予算に収まるかというのもある。中学生が使いやすい、中学生のことを第一に考えた学校にしていくべきと考える。

○委員：

やはり中原小学校の建物が老朽化している。ひばりが丘中学校の建替えが進まないと中原小学校の建替えが進まないので、できるだけ早く進めてほしい。

委員：

現在の校舎が造られた当時と現在では、子どもの体格や授業の方法等色々と変わってきており、教室や廊下が狭いように感じる。

○委員：

じっくりと集計結果を読ませていただいて、色々な意見があると感じた。

○会長：

委員の意見を聞いて、充実した生活が送れるようなより良い施設を作り上げていけるよう皆で考えていきたいと改めて感じたところである。以上で第3回会議を閉会する。

閉会